

コロナ重症病床 関西逼迫

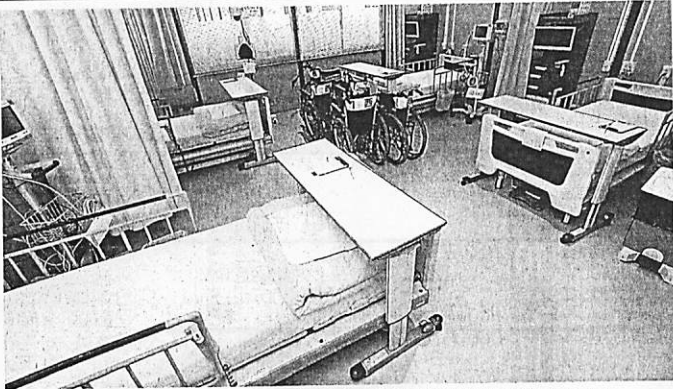
使用率急増 大阪5割、兵庫3割

新型コロナウイルス感染症の重症者用の病床が、大阪府や兵庫県など関西圏で逼迫し始めている。厚生労働省によると、25日時点の重症者は大阪府で181人で、18日の集計（103人）から76%も増加。兵庫も25日時点で32人と、1週間前（17人）からほぼ倍増した。これに伴い、重症者用の病床使用率が、大阪は全国で最も高い東京都（50%）に次ぐ49%に。兵庫も全国で4番目に高い29%となっている。専門家は「医療現場は追い込まれており、状況は非常に深刻だ」と話している。

厚労省の25日時点の集計では、兵庫は、重症者を含む新型コロナウイルス患者向けの病床使用率が68%で、全国で最も高かった。重症者用の病床使用率は29%で前週から14%悪化し、全国3番目の沖縄県（40%）に次ぐ高

主な病床使用率 (25日時点)

県	病床使用率	重症病床使用率
東	40↑	50↑
京	17↑	4↑
賀	19	22
都	55↑	49↑
阪	68↑	29↑
庫	34↑	22↑
良	21↑	8↑
山	21↑	8↑
和	※単位%	※小数点以下は四捨五入
歌	↑は前週より悪化	



新型コロナの中等症から重症患者向けに11月上旬に完成した、神戸市立医療センター中央市民病院の臨時病床＝神戸市中央区港島南町2

11月28日(土)

神戸新聞夕刊分

人はとても弱く自分には根拠のない自信を持ちいつか周囲人の配慮を忘れるものですね。

経済を廻しているのは飲食。旅行だけなのか？廻す人の注意喚起はしないのか？

そんなら Go To が大切ならば旅行前日に PCR 検査でもすればいい。ならば 巻き散らす予防はできるかも。

で21%も上がった。全国では、25日時点の重症者用の病床使用率は19都府県で前週より悪化。関西では2府4県のうち5府県で悪化し、病床逼迫が急速に進む様子がうかがえる。一方、重症者用を含むコロナ病床全体の使用率は40都道府県で悪化。15都道府

県では25%以上となった。厚労省の専門家組織は、北海道や首都圏、関西圏、中部圏の一部でコロナ診療と通常診療の両立が困難になり始めた」と指摘。「このままの状況が続けば助けられる命が助けられなくなる」と強い危機感を示した。政府対策分科会に参加する医療現場に詳しいメンバーは「医療機関では、春の第1波から病床を増やしてきたが、問題は人の少なさだ。限られた人員で治療を回している。医療が追い込まれているというのが現場の感覚だ」と危機感をあらわにした。